

平成29年度第1回木津川市文化財保護審議会 議事録抄録

- 1 日 時 平成29年8月22日（火）13：30～16時30分
- 2 場 所 木津川市役所 第2北別館会議室
- 3 出席者 委 員 白石太一郎、伊東史朗、源城政好、岩井照芳、浦本幹男
炭本 武、大山順子、中津川敬朗
(欠席委員 増井正哉、田辺英夫)
事務局 森永教育長、竹本教育部長、肥後文化財保護課長
文化財保護課職員5名
- 4 辞令交付 開会に先立って、29年4月1日付けの委員委嘱辞令の交付
(教育長から)
- 5 教育長あいさつ 開会に際して、森永教育長があいさつを行った。
- 6 事務局職員紹介
- 7 議 事
 - (1) 会長、副会長の互選による選任
事務局が、白石太一郎を会長に、中津川敬朗氏を副会長に推薦
異議無く議決による選任
 - (2) 報告事項
 - ア 平成29年度文化財保護課事業計画について
 - ・指定文化財修理等補助事業
 - ・高麗寺跡史跡整備事業
 - ・史跡公有化事業
 - ・市内遺跡発掘調査事業
 - ・埋蔵文化財活用事業
 - ・文化財展示事業
 - ・出前講座事業（普及啓発事業）
 - (主な質疑)
 - ・埋蔵文化財活用事業として実施するレプリカの再製作について、展示施設の環境の確認、再製作にあたって音声ガイド等の設備の付与ができないかとの質問があり、事務局が環境を説明するとともに、解説冊子の更新を行うことを説明
 - ・市内遺跡発掘調査事業として実施している鹿背山城跡の国史跡指定に向けての作業工程について質問があったが、事務局が報告書の刊行をし国指定について文

化序協議を経て、指定範囲の土地所有者の同意作業に入る予定と説明した。

- ・指定文化財修理事業として実施する森八幡宮の社務所の修理内容について質問があり、事務局が説明した。
- ・文化財の展示については、積極的に取組み、広報に勤めるようご意見をいただいた。

イ 京都府暫定登録文化財について

新しい府の施策について説明

本日付けで発表される市内の暫定登録文化財について紹介

(質疑応答)

- ・今年の登録分は本日発表分だけかとの問い合わせがあり、事務局がこれから今年度の2次調査が始まり、まだ登録対象文化財があるだろうと説明した。
- ・石仏の登録はどうかとの質問があり、所有者の不明な文化財の指定は難しいと事務局が回答した。
- ・市指定文化財と府暫定登録文化財の関係について質問があった。

(3) 審議事項

ア 市内文化財の悉皆調査について

悉皆調査の実施について事務局が案を提出、何から行えばよいか審議会に助言を求めるところ、事務局提示のとおり、優先順位は①寺院の建物、美術工芸品、古文書、②街道・町並みとすることの了解を得た。

(質疑応答)

- ・遺跡・記念物も悉皆調査の対象にするよう意見があった。
- ・いつから取り掛かるのか質問があり、事務局が来年度から取り組みたいと回答した。

イ 史跡整備について

現在高麗寺跡の整備を進めているが、将来的に何を優先して整備するか審議を進めて欲しいと提案

(委員会意見、質疑応答)

- ・高麗寺跡整備委員会と同様に、各史跡に整備委員会があるのではないかとの質問があり、事務局が高麗寺以外にはないと回答した。
- ・会長から、各史跡の過去の経過を説明いただけないと、審議は進められないと発言があり、次回事務局が説明することで了解を得た。

8 その他

閉会にあたり、事務局から11月を日程に第2回審議会を開催したいので、後日日程調整をする旨は連絡した。